

北海道農業の現状 (主産県との比較)

○ 農業産出額 (R3) (上位5位)

- ①北海道 13,108億円
- ②鹿児島県 4,997億円
- ③茨城県 4,263億円
- ④宮崎県 3,478億円
- ⑤熊本県 3,477億円

※農林水産省「令和3年生産農業所得統計」

○ 産出額上位品目 (R2)

- 米 (2位)
- 小麦 (1位)
- 大豆 (1位)
- ばれいしょ (1位)
- 生乳 (1位)
- 肉用牛 (2位)

※農林水産省「令和2年生産農業所得統計」

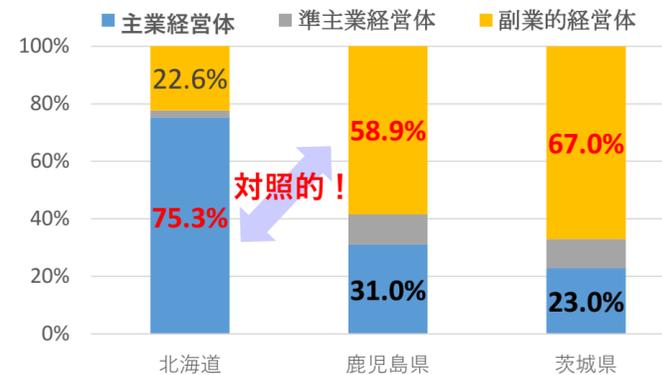
○ 1経営体当たり経営耕地面積 (ha)

	経営面積	対主産県
北海道	33.1ha	-
鹿児島県	2.5ha	13.2倍
茨城県	2.6ha	12.7倍

※農林水産省「令和4年農業構造動態調査」

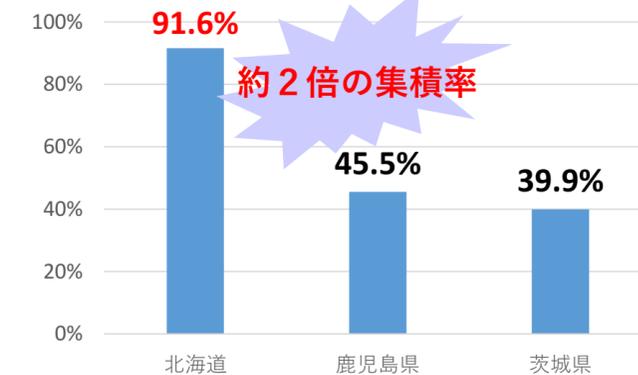
→ 主産県の約13倍の経営規模

○ 個人経営体に占める主副業別経営体の割合



※農林水産省「令和4年農業構造動態調査」

○ 担い手への農地集積率 (R5.3月末)



※農林水産省「農地中間管理機構の実績等に関する資料 (令和4年度版)」

北海道の取組

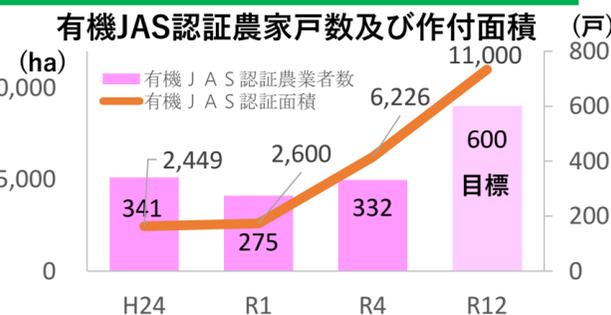
食料安全保障の強化



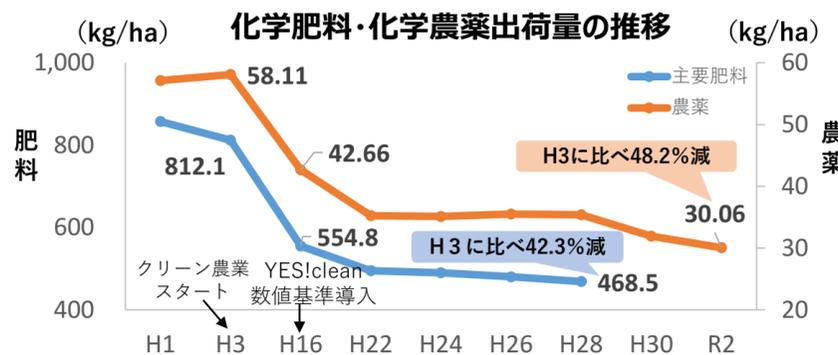
→ 輸入からの置換えを推進!

- 小麦 (R4) 130,600ha 作付面積全国1位 (57.5%)
- 大豆 (R4) 43,200ha 作付面積全国1位 (28.5%)
- 子実用とうもろこし (R3) 843ha 第3の輪作作物として期待!

環境に配慮した持続可能な農業



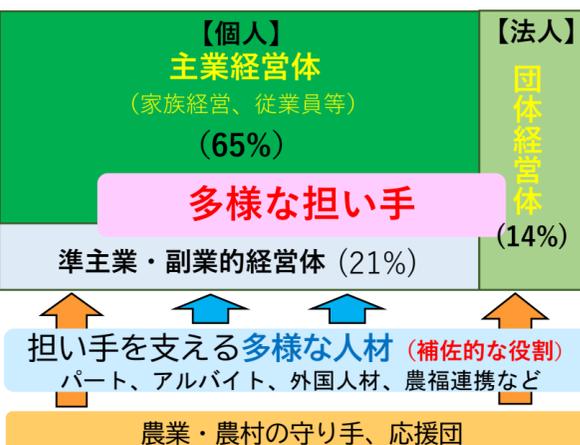
※農林水産省「県別有機JASほ場の面積」



※農政部調べ

人口減少下における生産性の維持・確保

担い手のイメージ



スマート農業技術導入状況



※農政部調べ

労働力不足の解消!

今後の取組方向

食料安全保障の強化

- 農産物の適正な価格形成と理解醸成
- 生産力を支える基盤整備の推進
- 小麦、大豆など輸入依存穀物の生産拡大
- 自給飼料の生産及び利用の拡大
- 作付転換や畑地化の促進
- 農産物の輸出促進に向けた環境整備
- 農業生産資材の安定供給
- 効率的かつ安定的な物流体制の強化 など

環境に配慮した持続可能な農業

- 化学肥料・化学農薬の削減
- 有機農業の取組拡大
- カーボン・クレジットの創出と普及 など

人口減少下における生産性の維持・確保

- スマート農業技術の社会実装の加速化
- 新規就農者に対する支援対策の充実・強化
- 担い手の経営発展に向けた施策の推進 など



暗渠排水による農地の排水対策

自給飼料 (子実用J-) の生産拡大



北海道安心ラベル



光センサーを用いた非破壊診断によるトマトの適正施肥



ロボットトラクター

搾乳ロボット